

令和3年度第3回審議会における主な委員意見及び市の対応方針

資料番号 4

	委員意見		市の回答・対応方針	改訂版への記載の追加・修正
	箇所	意見内容		
①	10頁	令和3年度においても、「アグリセンター」等の新たな施設が整備されたが、施設を新設するにあたって、必要性や適正規模等の検討に係る考え方は？	新たな施設の整備に関する考え方について、現行計画では明確な記載がないため、右記のとおり、記載の追加を行います。	(3)新たな公共施設の整備検討に係る公共施設の量と質の最適化の推進 今後、新たな公共施設の整備を検討する場合には、市民ニーズや将来的な需要見込み、民間サービスによる代替性等を精査し、十分に必要性を検討した上で、事業実施の可否を決定します。 また、新たな公共施設を整備する場合でも、適正規模や他の既存施設との複合化等を検討し、公共施設の量と質の最適化を図ります。
②	12頁 (4)①	和泉市では、各サービスセンターの廃止をする一方で、マイナンバーカードを活用したコンビニ交付を推進している。 このように、行政のDX化等により、市民サービスの向上を図っているという内容を記載すべきではないか。	右記のとおり、記載の追加を行います。	また、行政のDX化等を推進することで、市民が公共施設を訪れずとも、オンライン申請等でサービスを受けることができる環境づくりを目指します。
③	12頁 (4)②	「公共施設の利用料金収入の増加を図り、運営の財源に充当する」という記載について、「利用料金収入の増加を図る」ではなく、「運営コストの削減を図る」の方が適切ではないか。	右記のとおり、記載の修正を行います。	(旧)公共施設の魅力向上による利用者数の増加、それに伴う利用料金収入の増加等を図り・・・ (新)公共施設の魅力向上による利用者数の増加を図るとともに、効率的な管理運営による維持管理や運営にかかる費用の縮減をめざします。
④	15頁 4.	「市民と行政、市議会が十分な議論を行い」という記載について、議論するにあたっては、市から市民に対する早期の十分な情報提供の必要があるので、記載を追加してはどうか。	右記のとおり、記載の追加を行います。	市民等に対し十分な情報をできるだけ早期に共有するとともに
⑤	15頁 4.	「必要な市民サービス・機能を残す」という記載について、同じサービスを残し続けることより、その時代とともに変化する市民ニーズに合わせたサービスが必要であることから、「必要な市民サービス・機能を確保する」という表現の方がふさわしいのではないか。 「厳しい財政状況下で、公共施設の老朽化が進み、多額の更新費用が必要」や「公共施設の延床面積の縮減が目標」等の背景があるため致し方ないが、計画全体として、ネガティブな印象が強い。前向きな表現を追加すべきではないか。	右記のとおり、記載の追加を行います。	本市の人口が減少傾向であり、今後の厳しい財政状況も勘案すると、公共施設についても、廃止や統合等、延床面積の縮減に向けた検討は避けられない状況です。しかしながら、今後、「全ての施設を縮小する」「新たな施設を整備しない」ということではなく、『重要なのは「施設(建物)を残す(保有する)こと」ではなく、「その施設が提供している必要な公共サービス・機能を確保すること」である』という考え方のもと、施設の複合化や民間活力の活用等、様々な手法を用いて、今後もその時代に即した必要な公共サービスを確保することで、公共施設の量と質の最適化を図りながら、市民の豊かな生活の実現に向けて取り組んでまいります。